

「性の多様性」理解促進に向けた滋賀県における取組

【社会的背景】

- ・ さまざまな調査から人口の約5%はLGBTであると推定される(参照：(公財)人権教育啓発推進センター発行「みんなが自分らしく性の多様性を考える」)中、当事者団体の活動や差別等禁止に向けた法整備の動きがある。
- ・ オリンピック憲章に性的指向を理由とする差別を禁止する条項が加わり、世界的にも当事者の権利を機運が高まる中、東京オリンピック・パラリンピック等を契機に多様性への理解促進、人権尊重社会の実現に向けた取り組みが求められている。

【国の動き】

- **法務省**
 - ・ 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律 (H16. 7. 16 施行)
 - ・ 啓発冊子、リーフレットの作成・配布、啓発ビデオ等の作成・配信
 - ・ 人権相談(面接・電話等)への対応
- **内閣府**
 - ・ 人権擁護に関する世論調査を実施 (H29. 10. 5-15)
- **厚生労働省**
 - ・ 被保険者証の性別表記について (H24. 9. 21 付通知)
 - ・ 被保険者証の氏名表記について (H28. 8. 31 付通知)
- **文部科学省**
 - ・ 学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査 (H25. 4-12)
 - ・ 性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について (H27. 4. 30 通知) → 教職員向け手引を作成・公表 (H28. 4. 1)
 - ・ いじめの防止等のための基本的な方針 (H29. 3. 14 改定)

【自治体の動き】

- **大阪府**
 - ・ 府庁内：職員・教員研修の実施
 - ・ 府民啓発：研修の実施、啓発リーフレットの作成・配布
 - ・ 相談体制の充実：相談員のスキルアップ、相談事例の共有、広報
- **大阪市**
 - ・ 市庁内：職員研修の実施、性別記載の見直し、窓口対応手引きの作成
 - ・ 市民啓発：啓発リーフレットの作成・配布、情報発信、研修会の実施
 - ・ 相談体制の充実：専門相談員による相談対応
- **神奈川県**
 - ・ 県民啓発：啓発リーフレット・物品の作成・配布
 - ・ 相談体制の充実：専門相談員の派遣
- **東京都**
 - ・ LGBTに焦点をあてた条例の制定 (H31. 4. 1 施行予定)
 - ・ 人権部内にLGBT担当部署を設置 (H30 年度実施予定)
- **その他**
 - ・ パートナーシップ制度の広がり
(渋谷区、世田谷区、宝塚市、伊賀市、那覇市、札幌市など)

【滋賀県における取組の概要】

➤ 滋賀県の取組姿勢

滋賀県人権施策推進計画 (H28. 3 改定) において「性同一性障害者・同性愛者等」を重要課題の一つとして位置付け、正しい理解・認識を図る県民啓発を進めるとともに、学校現場においては児童・生徒の心情等に配慮した相談や支援等の取組を進めることとしている。

➤ 庁内における取組

- ・ 申請書等の性別欄の見直し (H29. 10. 3 公表)
性別欄のある255の申請書等のうち196(76.9%)の申請書等について性別欄を廃止または自由記述に変更 → 今後も引き続き、性別欄の必要性や記載方法について、人権尊重の視点から検討することとしている。
- ・ 学校教員向けリーフレット「性の多様性を考える」を作成 (H30. 3) → 学校に配布・研修を実施

➤ 県民啓発

- ・ 広報誌「ふれあいプラスワン」に特集記事「ありのままのキミがいい！誰もが自分らしく生きるために多様な性について考えよう」を掲載 (H29. 3-4 月号)
- ・ 「多様な性」をテーマとした30秒テレビスポットの制作・放送 (H29. 12 びわ湖放送、県HPで配信)
- ・ 人権啓発冊子「こころやわらかく」を改訂、「性的指向・性自認」のページを追加
- ・ 「じんけん通信」に特集記事を掲載
「多様な性と人権」(H28. 5 月号)
「多様な性について考えよう」(H30. 6-7 月号)
- ・ 若年層向け人権啓発講座を開催 (H29. 2. 9 於：立命館大学びわこくさつキャンパス)
テーマ：「多様な『性』を考える～LGB/T・ALLYになろう！～」
講師：川西 寿美子 (大阪私立人権教育研究会指導員)

➤ 相談・支援体制の充実

人権相談ネットワーク協議会構成団体を対象に連携強化と相談員のスキルアップを目的に研修会を開催
テーマ：「多様な性と性的マイノリティ」理解と対応～LGBT・ALLYになろう～ (H28. 3. 3)
講師：川西 寿美子 (大阪私立人権教育研究会指導員) テーマ
テーマ：“多様な性(セクシュアリティ)”の理解と対応 (H30. 3. 2)
講師：佐々木 掌子 (立教女学院短期大学 現代コミュニケーション学科 専任講師)

【県民の意識】

人権に関する県民意識調査(H28.9.27-10.17)結果より

Q 性同一性障害者・同性愛者等に関する事柄で、人権上、どのようなことが問題だと思うか？

A 回答の割合

- ・ 性同一性障害者・同性愛者等に関する理解や認識が十分でないこと 57.1%
- ・ 差別的な言動をされること 31.9%
- ・ 職場、学校等で嫌がらせやいじめをうけること 28.5%
- ・ じろじろ見られたり、避けられたりすること 25.7%